

精神保健福祉施策について

目 次

1.	精神保健福祉相談・訪問等件数	1
2.	普及啓発・教育研修	3
3.	依存症対策	5
4.	精神医療審査会・判定会議	8
5.	新潟市ひきこもり相談支援センター	12
6.	精神科救急医療対策事業	14
7.	措置入院	18
8.	受診勧奨	22
9.	精神障がい者地域移行・地域定着支援事業	24
10.	精神保健福祉関係事業歳出予算	26

1. 精神保健福祉相談・訪問等件数

(1) 相談・訪問の実績年次推移

単位:件

	相談延件数				※(訪問延件数)内は受診勧奨件数			
	総数	こころの健康センター	精神保健福祉室	区役所(保健師)	総数	こころの健康センター	精神保健福祉室	区役所(保健師)
平成27年度	11,189	4,367	475	6,347	1,948	4	174 (63)	1,770
平成28年度	10,455	4,634	330	5,491	1,929	0	166 (57)	1,763
平成29年度 (H29.4月～H30.1月)※1	9,366	4,297	327	4,742	1,832	2	219 (56)	1,611
平成29年度(見込み) ※1÷10ヶ月×12ヶ月	11,239	5,156	392	5,690	2,198	2	263 (67)	1,933

(2)精神保健福祉相談実績(こころの健康センター分)

来所相談

相談名	開催日	平成27年度			平成28年度			平成29年度(1月末)		
		開催回数	実人数	延人数	開催回数	実人数	延人数	開催回数 (年間回数)	実人数	延人数
精神科医による精神保健福祉相談	毎週木曜日	52	65	83	48	61	76	41(50)	57	63
精神科医による高齢者精神保健福祉相談	第2火曜日・第4木曜日	24	16	18	23	17	18	20(23)	13	13
精神科医による思春期青年期相談	偶数月の第2木曜日	6	7	8	6	7	7	5(6)	8	8
専門の相談員による「依存症相談」(H28年度まで「酒害相談員による酒害相談」)	第1・3月曜日	18	15	15	20	11	11	18(21)	12	17
臨床心理士によるうつストレス相談	毎週土曜日	48	51	57	48	35	42	39(48)	26	27
小計			154	181		131	154		116	128
精神保健福祉相談員による精神保健福祉相談	月～金曜日		137	255		186	343		156	272
合計			291	436		317	497		272	400

電話相談

相談名	開催日	平成27年度			平成28年度			平成29年度(1月末)		
		実施回数	実人数	延人数	実施回数	実人数	延人数	実施回数	実人数	延人数
精神保健福祉相談員による精神保健福祉相談	月～金曜日		1,416	3,931		1,598	4,137		1,266	3,897

2. 普及啓発・教育研修

平成29年度

(1) 市民向けの講演会等

ア 記念講演会

新潟県精神保健福祉協会新潟市支部と共催

【テーマ】「患者の人生に寄り添う 統合失調症治療のあり方」

【講師】医療法人崇徳会 田宮病院病院長 渡部 和成 氏

【参加者数】 180人

イ 市民講座

新潟県精神保健福祉協会新潟市支部と共催で、2回開催

<第1回>

【講演会】「ひきこもりを考える～本人と家族の望ましい対応」

【講師】新潟青陵大学大学院看護学研究科 看護学部看護学科
教授 斎藤 まさ子 氏

【参加者数】 112人

<第2回>

【講演会】「うつ病と躁うつ病の基礎知識」

【講師】新潟大学医歯学総合病院精神科 准教授 鈴木 雄太郎 氏

【参加者数】 75人

ウ 出前講座

5回実施し、延417人が参加。

エ 新潟市民健康福祉まつりへの参加

- ・ブースを設置し、アルコールパッチテストを実施。延620人。
- ・依存症関連ポスター掲示、パンフレットを配布。
- ・アルコール飲料のサンプルの展示

(2) 精神障がい者（家族）に対する教室等

ア 家族教室

- ・アルコール、薬物依存症の当事者の家族を対象とした家族教室を開催。
- ・平成26年度より継続。平成27年度から、新潟県と共催。
- ・5回1コースで開催。
- ・26年度以降の参加者を対象に、年1回交流会を開催。
- ・参加は、家族教室：7家族・延28人。 交流会：3家族・4人。

イ 薬物依存治療・回復プログラム

- ・薬物依存症の当事者を対象とした治療・回復プログラムを開催。
- ・28年度より、新潟県と共催で開催。
- ・29年度は、7回1コースで開催。
- ・参加者は、実8人・延39人。(5回開催済)

(3) 支援者に対する教育研修

ア 精神保健福祉業務基礎研修

年2回開催

<第1回>

【内容】精神疾患の基礎知識，精神保健福祉の法律と施策について 等

【講師】こころの健康センター職員

【参加者数】 77人

<第2回>

【テーマ】「面接相談の基礎知識～明日から使える面接技法～」

【講師】新潟市総務部職員課 神田 優衣氏、鈴木 陽子氏

【参加者数】 11人

イ 精神保健福祉業務専門研修

テーマを決め、年2回開催

<第1回>

【テーマ】「アルコール依存症の基礎知識」

【講師】河渡病院 院長 若穂 徹 氏，AA新潟地区メンバー

【参加者数】 83人

<第2回>

【テーマ】「注意欠如多動症の基礎知識」

【講師】新潟こころの発達クリニック 遠藤 太郎 氏

【参加者数】 109人

ウ 新潟圏域高次脳機能障害支援従事者研修

新潟県新潟地域振興局との共催で、年1回開催

【内容】事例検討，講義「高次脳機能障害者の支援について」

【講師】新潟医療福祉大学医療技術学部作業療法科 大学院医療福祉学研究所

教授 能登 真一 氏

【参加者数】 18人

3. 依存症対策

(1) 相談支援

専門相談として、アルコール問題に関する「酒害相談」を月2回実施。平成29年度からは名称を「依存症相談」と変更し、アルコール問題に限らず、薬物やギャンブルなどの依存に関する相談も対応していることをわかりやすく周知している。

依存症相談件数（旧「酒害相談」）開催日：第1・3月曜日 ※29年度1月末現在

平成27年度		平成28年度		平成29年度	
実	延	実	延	実	延
15	15	11	11	12	17

依存症関連問題のある相談件数（全来所相談の集計）

依存症種別	27年度		28年度		29年度	
	実	延	実	延	実	延
アルコール	25	33	5	14	18	32
薬物依存(カフェイン等含)	9	21	8	20	5	9
ギャンブル	3	5	3	5	8	10
摂食障害	9	19	6	14	6	10
性的(盗撮, 痴漢等)					1	1
ニコチン	1	1				
ネット・スマホ・ゲーム	4	5	2	6	4	7
買物・浪費	2	2	1	1	5	5
盗癖					2	8
占い					1	1
合計	53	86	25	60	50	83
来所相談総数	291	436	317	497	272	400
割合	18%	20%	8%	12%	18%	21%

※注：複数の依存がある場合は重複計上

(2) 普及啓発・教育研修

新潟市民健康福祉まつりにて、ブースを設置し、依存症関連のポスター掲示、アルコールパッチテストとパンフレット配布を実施。

30年度から事業を変更して実施する予定。

参加者延人数（パッチテスト配布数）

27年度	28年度	29年度
417人	587人	620人

（３）アルコール・薬物依存症の家族教室

平成26年度より開催し、平成27年度からは、新潟県と共催。また、平成27年度からは、依存症の家族教室に参加した人を対象とした交流会を年1回開催。

参加者は、薬物依存（覚せい剤、大麻、危険ドラッグ、処方薬、市販薬など）では親が多く、アルコール依存では配偶者が多い。

内 容：テキスト「薬物依存症者をもつ家族を対象とした心理教育プログラム」（作成 近藤あゆみ 他）を使用し、依存症の知識、接し方などを学ぶ。

外部講師：国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部

診断治療発研究室長 近藤 あゆみ 氏

新潟県薬物依存症者家族会の世話人 小西 憲 氏

家族教室（全5回）参加者数（交流会除く）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
家族数（実人数）	10組（12人）	11組（14人）	9組（12人）
延べ人数	47人	49人	32人

（４）薬物依存治療・回復プログラム

平成28年度より、新潟県と共催で実施。新潟ダルク責任者に進行補助として従事してもらっている。

依存対象は、覚せい剤、LSD、シンナー、ヘロイン、危険ドラッグ、処方薬、販薬、コカイン、アルコールと多様であった。依存対象が複数ある方が多い。

内容：テキスト「SMARPP（スマープ）16」（作成 国立精神神経医療研究センター松本俊彦ら）をもとに、依存症の知識、自身の引き金と欲求、再発予防など、依存からの回復のための対処方法を学ぶ。

対象：平成28年度は、新潟ダルク入寮者と保護観察所からの紹介者のみに限定して行った。29年度は、一般からの申込みも含め対象を広げた。

参加者数

	平成28年度（全5回）	平成29年度（5回／全7回）
延人数（実人数）	29人（10人）	39人（8人）

(5) 他機関との連携

- ・薬物依存症支援について、他機関との情報交換の場（はばたきネット）への出席。
- ・新潟保護観察所との刑の一部執行猶予制度に伴う「地域支援ガイドライン」を平成27年度中に新潟保護観察所及び新潟県と作成し、平成28年度7月の「薬物事犯者等地域支援連絡協議会」にて発出。
- ・新潟県薬物依存症者家族会、ダルク主催の「新潟県薬物依存症フォーラム」にパネリストとして参加（平成27年度3月、平成29年度3月）

4. 精神医療審査会・判定会議

(1) 精神医療審査会 審査実績 ※平成29年度実績は1月末現在の実績

開催状況

	合議体		総会	
	回数	出席委員	回数	出席委員
28年度	18	84	1	9
29年度(4月～1月)	15	72	1	12

退院等請求審査

区分	前年度 繰越	請求件 数	審査件 数	審査結果				意見聴 取件数	取り下 げ件数	退院等 審査要 件の消 失	次年度 繰越	平均処 理日数	
				現在の入 院形態に よる入院 又は処遇 は適当	他の入院 形態への 移行が適 当	病状等に ついて報 告を求め ることが 適当	入院又は 処遇は不 適当						
退院請求	28年度	7件	64件	47件	47件	0件	0件	0件	36件	11件	9件	4件	31.7日
	29年度	2件	41件	27件	27件	0件	0件	0件	23件	11件	6件		29.8日
処遇改善請 求	28年度	5件	28件	17件	17件			0件	15件	11件	4件	1件	34.2日
	29年度	0件	11件	11件	11件			0件	11件	4件	3件	0件	26.6日
合計	28年度	12件	92件	64件 (3.6件)	64件	0件	0件	0件	51件	22件	13件	5件	32.4日
	29年度	2件	52件	38件 (2.5件)	38件	0件	0件	0件	34件	15件	9件	0件	28.9日

注1) 29年度は4月～1月実績。下段()は1回あたりの審査件数。

注2) 6ヶ月以内の複数回請求: 審査後、意見聴取実施せず 28年度: 13件(退院: 11件, 処遇: 2件), 29年度: 2件(退院: 2件, 処遇: 0件)

請求を受理してから審査結果を通知するまでの期間

年度	区分	日数別の件数					合計	平均
		30日以内	31日以上 ～ 40日以内	41日以上 ～ 60日以内	61日以上 ～ 90日以内	91日以上		
28年度	退院請求	24件	13件	8件	2件	0件	47件	31.7日
	処遇改善請求	8件	4件	4件	1件	0件	17件	34.2日
29年度	退院請求	19件	4件	3件	1件	0件	27件	29.8日
	処遇改善請求	9件	1件	1件	1件	0件	11件	26.6日

書類審査

単位:件

区分	審査件数	(うち、審査継続件数)	審査結果				実地審査件数	意見聴取件数	審査継続中	
			現在の入院形態による入院は適当	他の入院形態への移行が適当	病状等について報告を求めることが適当	入院継続又は処遇内容は不適當				
医療保護入院届	28年度	1,569	59	1,569	0	0	0	0	0	
	29年度	1,358	48	1,357	0	0	0	0	1	
定期病状報告	措置	28年度	6	1	6	0	0	0	0	0
		29年度	2	0	2	0	0	0	0	0
	医療保護	28年度	1,346	51	1,346	0	0	0	0	0
		29年度	1,298	28	1,296	0	0	0	0	2
合計	28年度	2,921 (162.2)	111 (6.1)	2,921	0	0	0	0	0	
	29年度	2,658 (177.2)	76 (5.0)	2,655	0	0	0	0	3	

注1) 29年度は4月～1月実績。()は1回あたりの審査件数。注2) 29年度審査結果件数は、現在審査継続中の案件を除いている。

審査実績年次推移

単位:件

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
審査会開催回数	18	17	18	18	18	18	18	18	18	18	15
退院等請求審査件数	37	22	33	28	33	42	38	54	54	64	52
入院届審査件数	1,276	1,349	1,273	1,238	1,263	1,192	1,307	1,482	1,442	1,569	1,358
定期病状報告書審査件数	1,333	1,349	1,380	1,369	1,412	1,473	1,412	1,407	1,356	1,352	1,300

退院等請求相談電話の受理状況

単位:件

	件数	内訳		
		入院者本人	家族等	その他
28年度	219	212	4	3
29年度(4月～1月)	215	208	3	4

(2) 判定会議 判定実績(精神障害者保健福祉手帳・自立支援医療費)

ア 精神障害者保健福祉手帳・自立支援医療の判定医体制

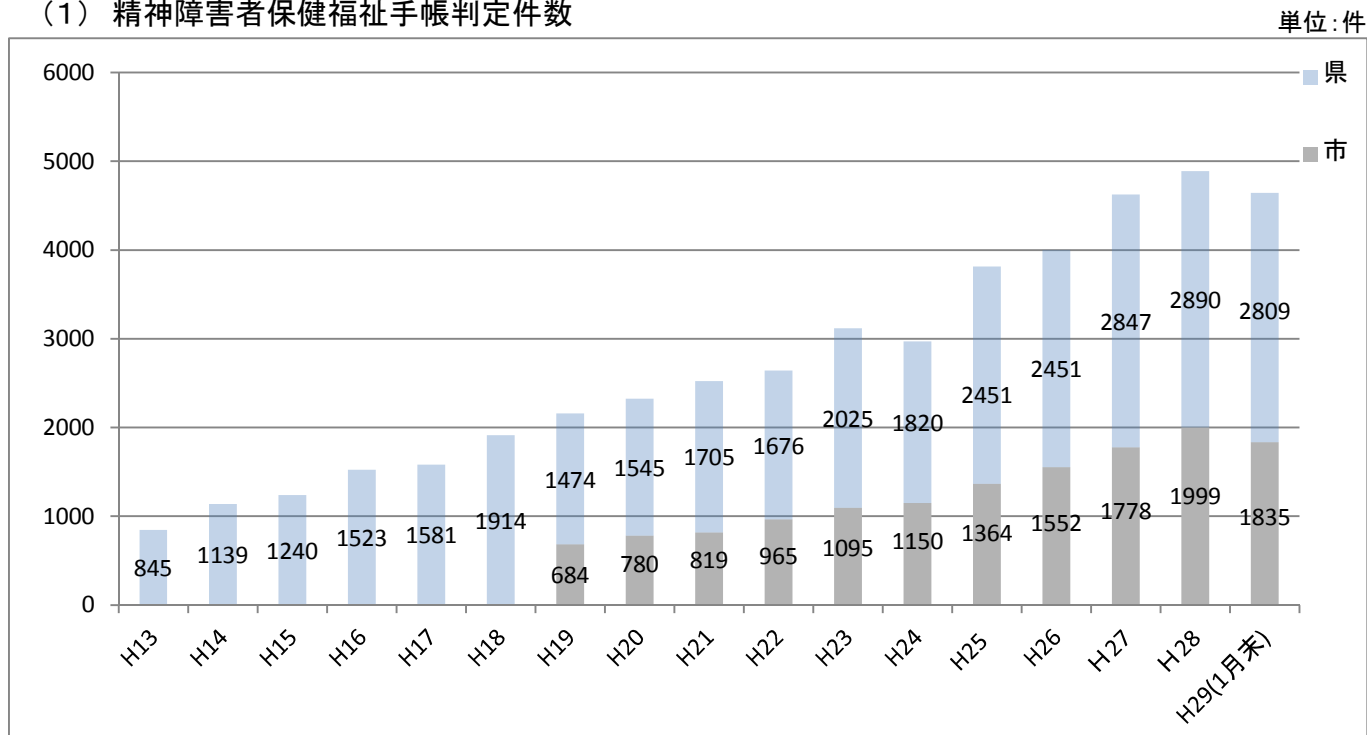
(1) 判定医体制 6名

(2) 判定会議開催回数

毎月2回開催, 年間24回開催。平成19年度から県と市で共同開催。

イ 精神障害者保健福祉手帳・自立支援医療実績

(1) 精神障害者保健福祉手帳判定件数



※平成29年度は4月から1月までの数字

(2) 平成29年度 精神障害者保健福祉手帳判定結果

内訳	適			非該当	判定不能
		1,684 (99.35%)			6 (0.35%)
	1級	2級	3級		
	127	1,455	102		

※平成29年4月から平成30年1月までの新潟市分の判定結果。

1枚の診断書を複数回判定する場合があるため, 判定件数と判定結果は一致しない。

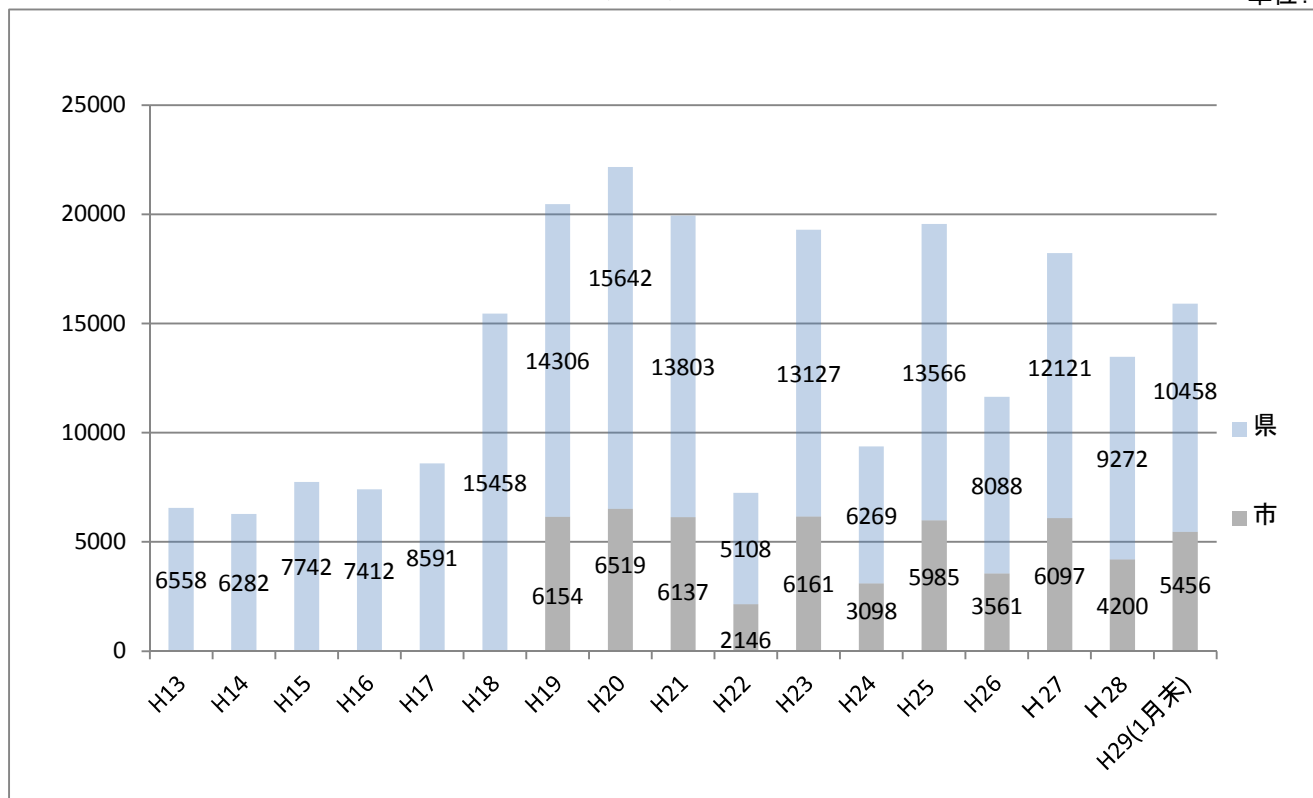
(3) 精神障害者保健福祉手帳の年次推移

単位: 件

	総数	1級	2級	3級
平成27年度	5,137	705	4,062	370
平成28年度	5,582	721	4,467	394
平成29年度 (H28.4月~H29.1月)※1	5,990	746	4,829	415
平成29年度(見込み) ※1÷10ヶ月×12ヶ月	7,188	895	5,795	498

(4) 自立支援医療(精神通院医療)、通院医療費公費負担判定件数

単位:件



※平成29年度は4月から1月までの数字

判定件数の急増, 急減は診断書更新期間の変更によるもの。

平成17年度までは2年に1回であったが, 18年度から21年度は1年に1回となり, 22度からは2年に1回に戻った。

(5) 平成29年度 自立支援医療(精神通院医療)判定結果 単位:件

適	非該当	判定不能
5,401(99.82%)	10(0.18%)	0

※平成29年4月から平成30年1月までの新潟市分の判定結果。

1枚の診断書を複数回判定する必要があるため, 判定件数と判定結果は一致しない。

(6) 自立支援医療(通院医療公費負担制度)利用者数

	総数
平成27年度	10,890
平成28年度	11,624
平成29年度 (H28.4月~H29.1月)※1	11,556
平成29年度(見込み) ※1÷10ヶ月×12ヶ月	13,867

5. 新潟市ひきこもり相談支援センター

(1) 事業趣旨

新潟市におけるひきこもりの支援を推進し、その長期化を防ぐため、ひきこもりに関する総合的な窓口として「新潟市ひきこもり相談支援センター」を設置

(2) 開始日 平成23年8月1日

(3) 開設日時 火曜日～土曜日 9時～18時

(4) 運営形態 「ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟」に事業を委託

(5) 設置場所

新潟市万代市民会館5階（中央区東万代町9-1）

地域教育推進課が所管する「新潟市若者支援センター オール」と同フロアに開設

(6) 活動内容

- ・相談支援（電話、面接、メール等）
- ・アウトリーチ（訪問支援）
- ・各種プログラム（居場所、保護者会など）
- ・ひきこもり支援連絡会の開催
- ・情報発信、普及啓発

(7) 職員体制

- ・H23年度：事業責任者1名、支援コーディネーター2名
（常勤職員1名、非常勤職員1名）うち有資格者2人（精神保健福祉士、社会福祉士）
- ・H24年度：事業責任者1名、支援コーディネーター2名
（常勤職員1名、非常勤職員1名）うち有資格者1人（社会福祉士）
- ・H25年度：事業責任者兼支援コーディネーター1名（常勤職員）
支援コーディネーター3名（常勤職員2名、非常勤職員1名）
うち有資格者1人（精神保健福祉士、社会福祉士）
- ・H26年度：有資格者が2名（精神保健福祉士と社会福祉士1、社会福祉士1）
- ・H29年度：有資格者が1名（社会福祉士1）、非常勤を含め5人体制

(8) 事業実績

ア 相談・訪問件数

	相談延べ件数					相談者の内訳			訪問件数	
	電話	面談	メール	所外	相談計	本人	保護者	その他	実	延
H27年度(4～3月)	389	804	28	73	1294	613	516	165	74	286
H28年度(4～3月)	422	839	8	51	1320	618	497	205	76	430
H29年度(4～1月)	396	591	13	27	1027	433	490	104	67	292

イ 居場所等プログラム

	開催回数	参加者内訳		
		本人	保護者	合計人数
H27年度(4～3月)	52	372	52	424
H28年度(4～3月)	64	406	59	465
H29年度(4～1月)	59	272	25	297

ウ 新潟市ひきこもり相談支援センター支援連絡会

・目的

新潟市ひきこもり相談支援センター事業実施要綱第4条(4)に基づき、本市におけるひきこもり支援に関する課題の整理や情報交換、事例検討等を行い、各機関による恒常的な連携を確保するため、医療・保健・福祉・教育・労働等の関係機関からなる「新潟市ひきこもり支援連絡会」を設置する

・構成員

ひきこもり・サポートネットにいがた、NPO法人KHJにいがた「秋桜の会」
NPO法人 にいがた若者自立支援ネットワーク伴走舎、
新潟地域若者サポートステーション、
新潟青陵大学 不登校・ひきこもり研究会、新潟翠江高校
新潟県ひきこもり相談支援センター、新潟市発達障害支援センター JOIN、
新潟市(各区健康福祉課、障がい福祉課、若者支援センター、教育相談センター、
明鏡高校、こころの健康センター)、新潟市ひきこもり相談支援センター

・開催日 平成29年7月24日

・会場 新潟市総合保健医療センター

・内容 新潟市ひきこもり相談支援センター事業実績報告
事例紹介・意見交換

・参加人数 26人(うち事務局4人)

6. 精神科救急医療対策事業

精神科救急医療システムの実績（休日昼間）

1 対応件数実績 年次推移

		H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 11 月末
電話 のみ	新潟ブロック	66 件	42 件	77 件	104 件	169 件	151 件
	新潟市民 再掲	52 件	31 件	62 件	72 件	120 件	103 件
	県全体	285 件	381 件	562 件	607 件	658 件	526 件
来院	新潟ブロック	110 件	96 件	103 件	108 件	138 件	75 件
	新潟市民 再掲	84 件	87 件	85 件	88 件	115 件	54 件
	県全体	314 件	315 件	330 件	314 件	327 件	223 件
計	新潟ブロック	176 件	138 件	180 件	212 件	307 件	226 件
	新潟市民 再掲	136 件	118 件	147 件	160 件	235 件	157 件
	県全体	599 件	696 件	862 件	921 件	985 件	749 件
新潟ブロックにおける 新潟市民利用率		77.3%	85.5%	81.7%	75.5%	76.6%	69.5%

2 平成 29 年度 システム稼働状況(11 月末まで)

	当番日数	稼働日数	稼働率	総対応数	稼働 1 日あたりの対応件数
新潟ブロック実績 (佐渡ブロック除)	79 日	68 日	86.1%	226 件	3.3 件
県全体 5 ブロック合計	429 日	248 日	57.8%	749 件	3.0 件

※稼働日数とは、当番日数のうち電話や来院のあった日をいう。

精神科救急医療システムの実績（夜間）

1 対応件数実績 年次推移

		H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 11 月末
電話 のみ	北ブロック	119 件	160 件	294 件	269 件	872 件	822 件
	新潟市民 再掲	46 件	64 件	166 件	149 件	688 件	646 件
	県全体	210 件	633 件	843 件	969 件	1,764 件	1,354 件
来院	北ブロック	119 件	100 件	164 件	166 件	231 件	135 件
	新潟市民 再掲	71 件	70 件	124 件	118 件	171 件	102 件
	県全体	308 件	248 件	333 件	316 件	404 件	254 件
計	北ブロック	238 件	260 件	458 件	435 件	1,103 件	957 件
	新潟市民 再掲	117 件	134 件	290 件	267 件	859 件	748 件
	県全体	518 件	881 件	1,176 件	1,285 件	2,168 件	1,608 件
北ブロックにおける 新潟市民利用率		49.2%	51.5%	63.3%	61.4%	77.9%	78.2%

※平成 25 年度までは夜間部分 2 ブロック，平成 26 年度からは夜間完全 2 ブロックとなった。

2 平成 29 年度 システム稼働状況(11 月末まで)

	当番日数	稼働日数	稼働率	総対応数	稼働 1 日あたりの対応件数
北圏域	244 日	200 日	82.0%	957 件	4.8 件
県全体 5 ブロック合計	488 日	398 日	81.6%	1,608 件	4.0 件

※稼働日数とは，当番日数のうち電話や来院のあった日をいう。

精神科救急情報センター対応状況

1 対応件数実績 年次推移

	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度 (11 月末)
新潟市民	60 件 (67%)	69 件 (55%)	81 件 (61%)	47 件 (55%)
新潟市民以外	30 件 (33%)	33 件 (27%)	50 件 (36%)	21 件 (25%)
不明	0 件 (0%)	23 件 (18%)	5 件 (3%)	17 件 (20%)
県全体合計	90 件	125 件	136 件	85 件

2 利用機関及び件数 年次推移

	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度 (11 月末)
救急隊	67 件	100 件	115 件	69 件
警察	1 件	0 件	3 件	2 件
病院	9 件	14 件	13 件	8 件
クリニック	4 件	3 件	2 件	1 件
その他	9 件	8 件	3 件	5 件

3 対応結果

	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度 (11 月末)
精神科救急病院受診	67 件	42 件	59 件	24 件
一般救急病院受診	3 件	15 件	15 件	12 件
当番病院以外の精神科病院受診	10 件	6 件	16 件	4 件
警察通報助言	1 件	4 件	2 件	1 件
消防通報助言	0 件	2 件	0 件	0 件
その他 (不搬送, 不明など)	9 件	56 件	44 件	44 件

精神医療相談窓口対応状況

1 対応件数実績 年次推移

	H27 年度	H28 年度	H29 年度(11 月末)
新潟市民	406 件 (28%)	513 件 (34%)	368 件 (38%)
新潟市民以外	352 件 (25%)	639 件 (43%)	257 件 (26%)
不明	680 件 (47%)	352 件 (23%)	346 件 (36%)
県全体合計	1,438 件	1,504 件	971 件

2 相談者治療歴 年次推移

	H27 年度	H28 年度	H29 年度(11 月末)
現在治療中	809 件	847 件	593 件
以前あり	124 件	196 件	87 件
受診歴なし	196 件	290 件	175 件

3 相談時間帯

平日	H27 年度	H28 年度	H29 年度(11 月末)
0～7 時	164 件	288 件	164 件
8～12 時	229 件	200 件	103 件
13～16 時	197 件	159 件	113 件
17～23 時	349 件	349 件	255 件

休日	H27 年度	H28 年度	H29 年度(11 月末)
0～7 時	81 件	123 件	62 件
8～12 時	164 件	116 件	81 件
13～16 時	113 件	118 件	79 件
17～23 時	145 件	151 件	114 件

4 相談結果

	H27 年度	H28 年度	H29 年度 (11 月末)
救急当番病院案内	186 件	226 件	135 件
かかりつけ医への受診勧奨	356 件	381 件	265 件
最寄りの医療機関案内	111 件	128 件	75 件
精神科医療に関する助言	88 件	65 件	45 件
通常精神科受診助言	11 件	33 件	25 件
一般救急への受診勧奨	9 件	9 件	15 件
他の相談機関案内	200 件	177 件	92 件
傾聴不安の解消	277 件	255 件	177 件
その他	195 件	210 件	142 件

※精神医療相談窓口からの実績報告に基づいた件数。

7. 措置入院

1. 目的

精神障がいを起因とする「自傷他害」を及ぼすおそれがあると認められた精神障がい者を精神科病院に入院措置し、精神障がい者の医療及び保護を図る。

2. 実績

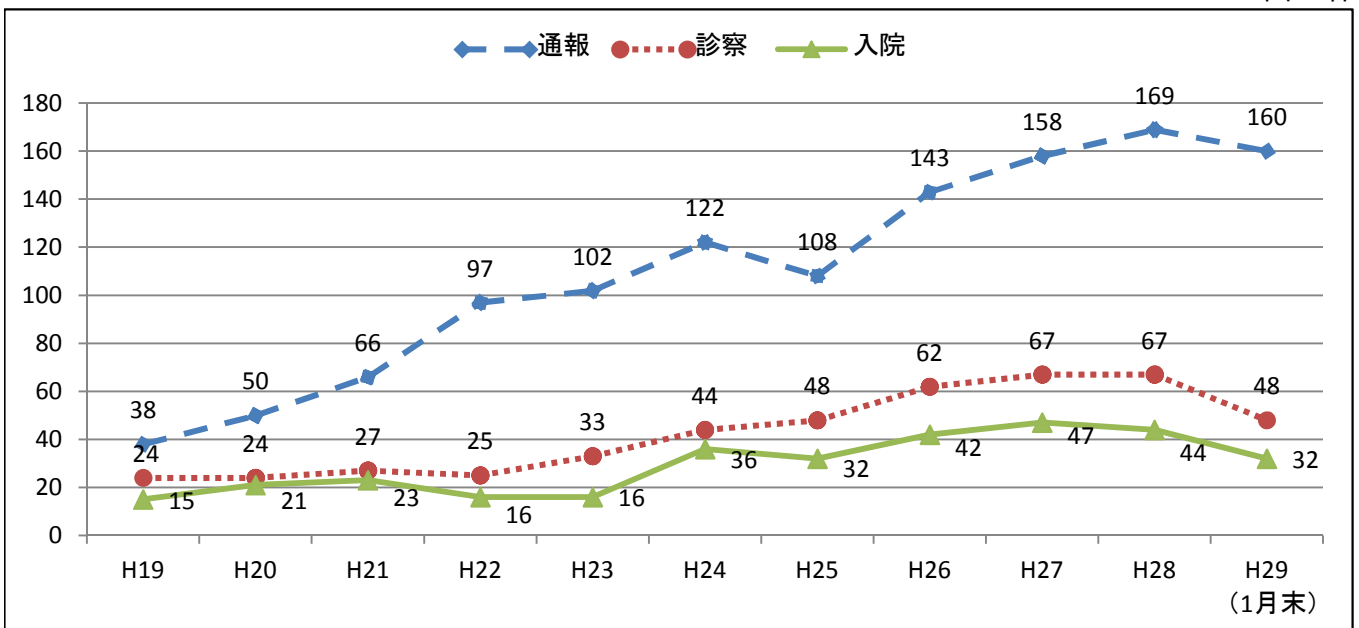
<措置通報等種別実績>

単位:件

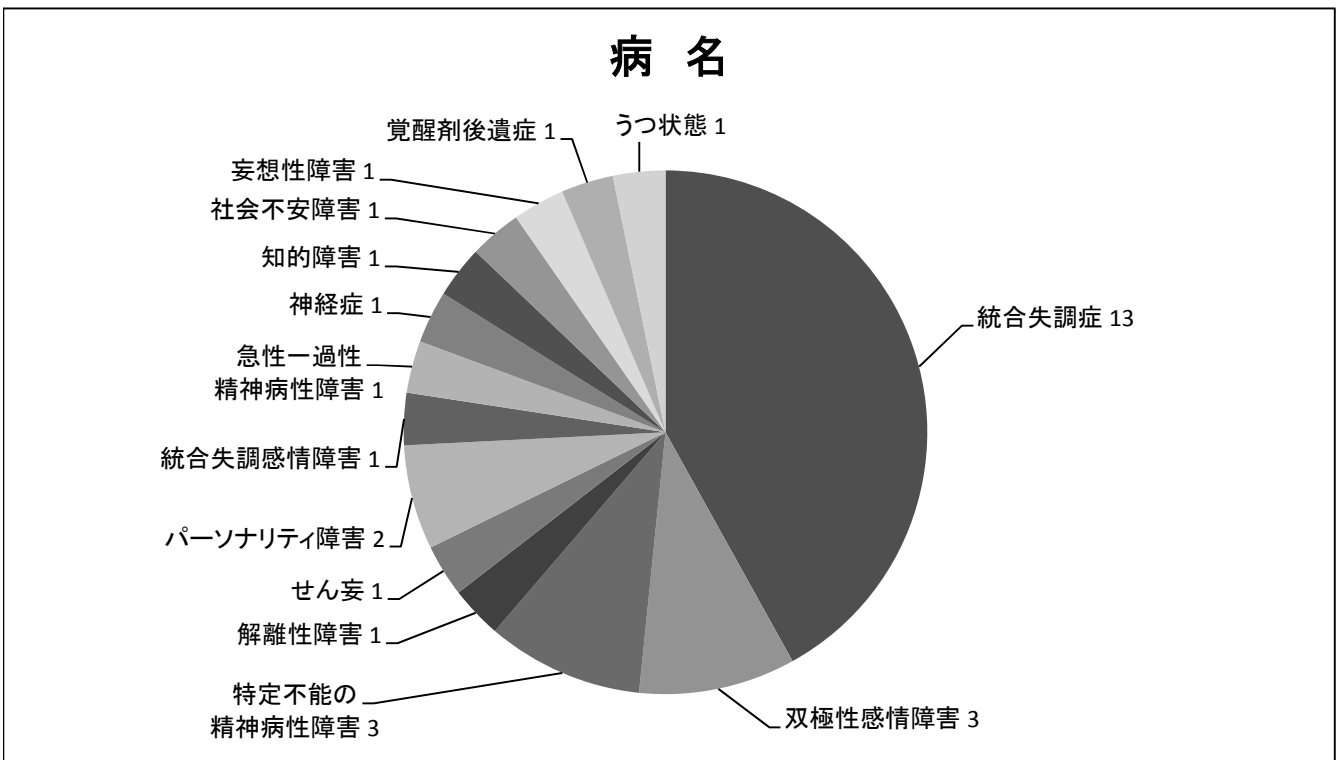
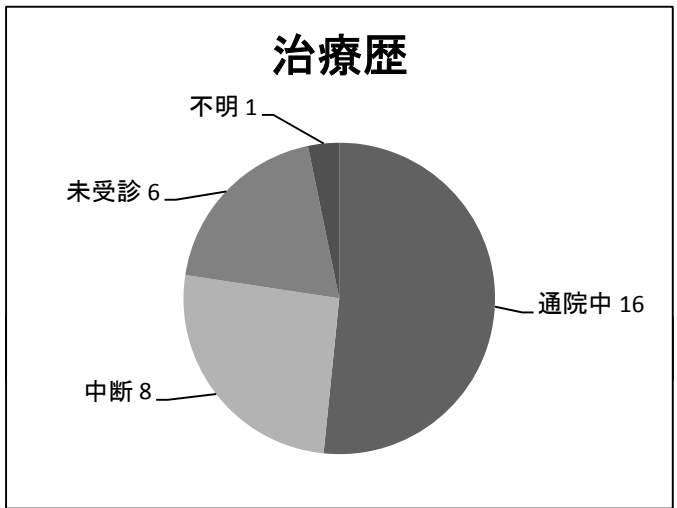
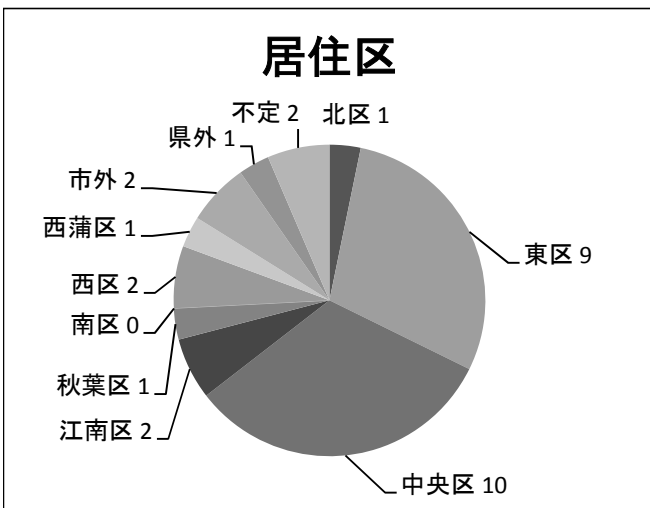
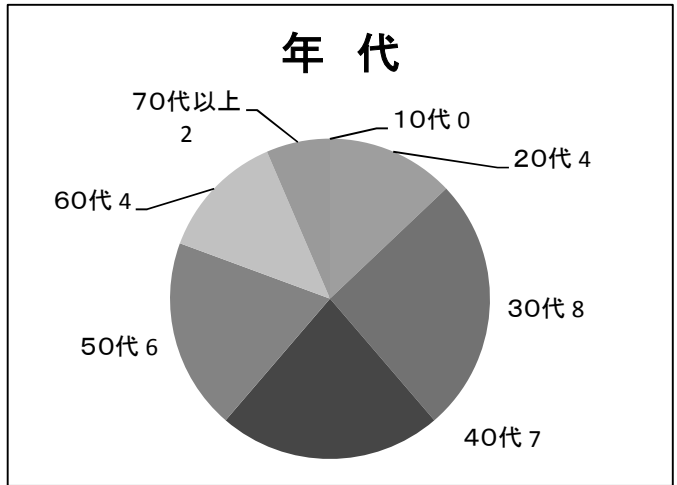
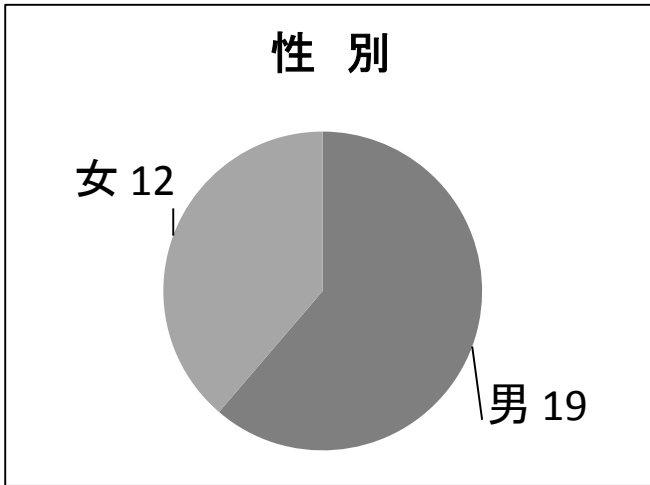
	平成27年度			平成28年度			平成29年度(1月末)		
	通報等 件数	診察 件数	措置 件数	通報等 件数	診察 件数	措置 件数	通報等 件数	診察 件数	措置 件数
一般人申請 (22条)	0	0	0	5	0	0	5	0	0
警察官通報 (23条)	64	47	30	59	51	37	48	37	24
検察官通報 (24条)	25	18	17	29	14	6	33	8	5
保護観察所長通報 (25条)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矯正施設長通報 (26条)	69	2	0	76	2	1	74	3	3
合計	158	67	47	169	67	44	160	48	32

<措置通報等件数経年推移>

単位:件

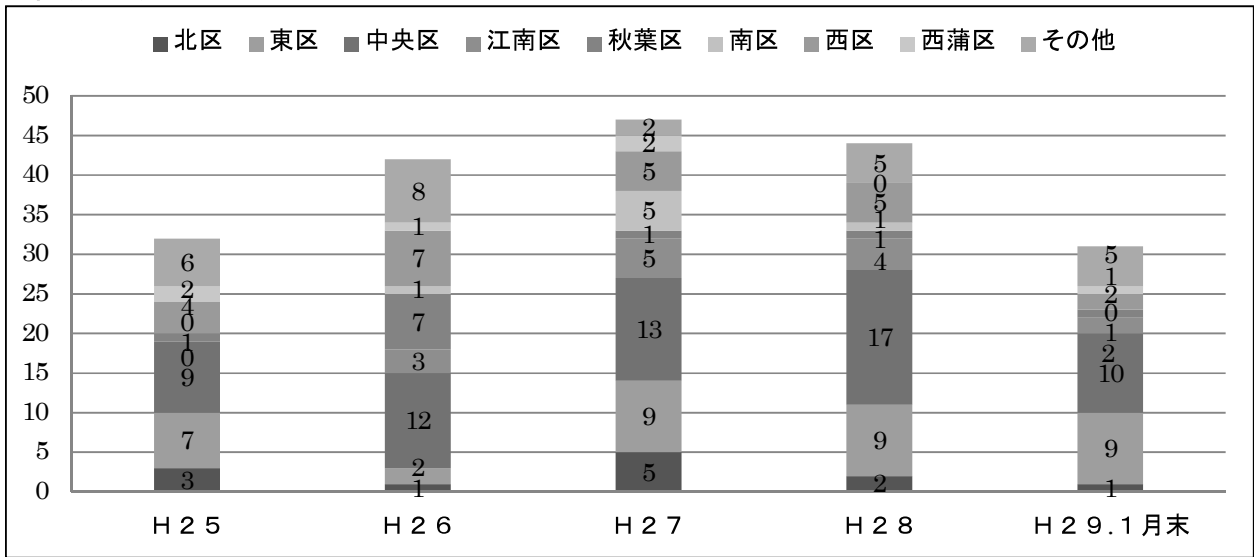


対応件数：31件（平成29年4月～平成30年1月末）

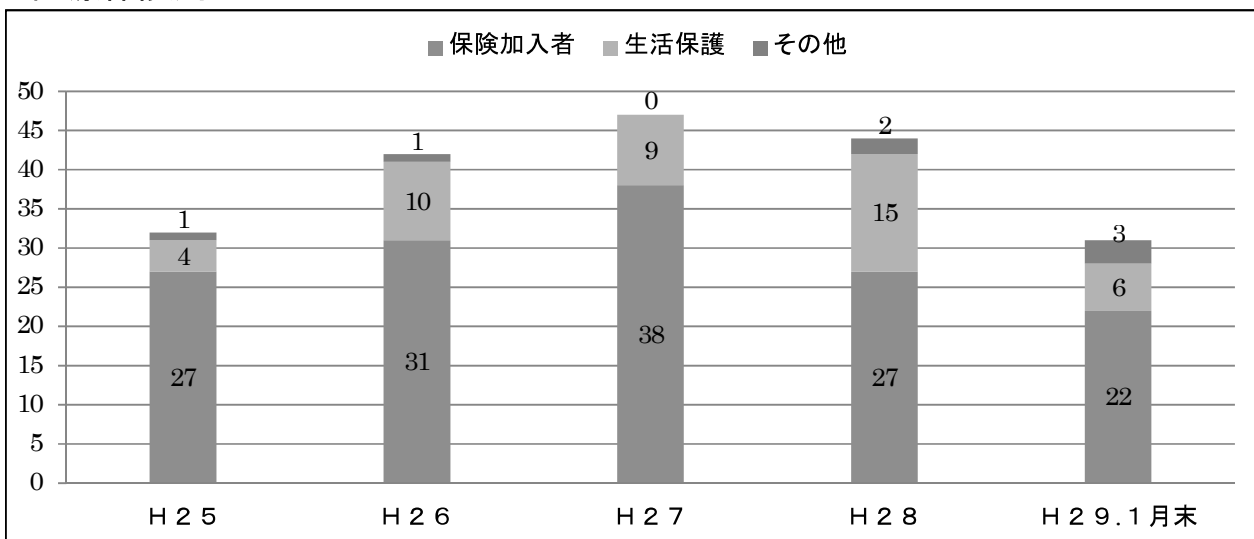


措置入院件数経年推移(通報時点の状況)

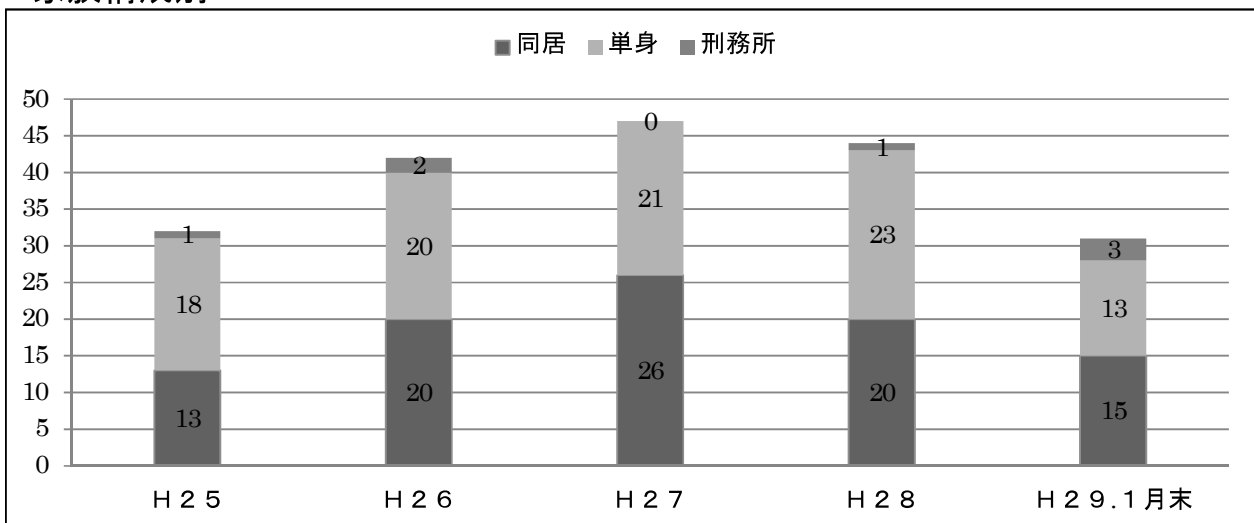
・住所地別



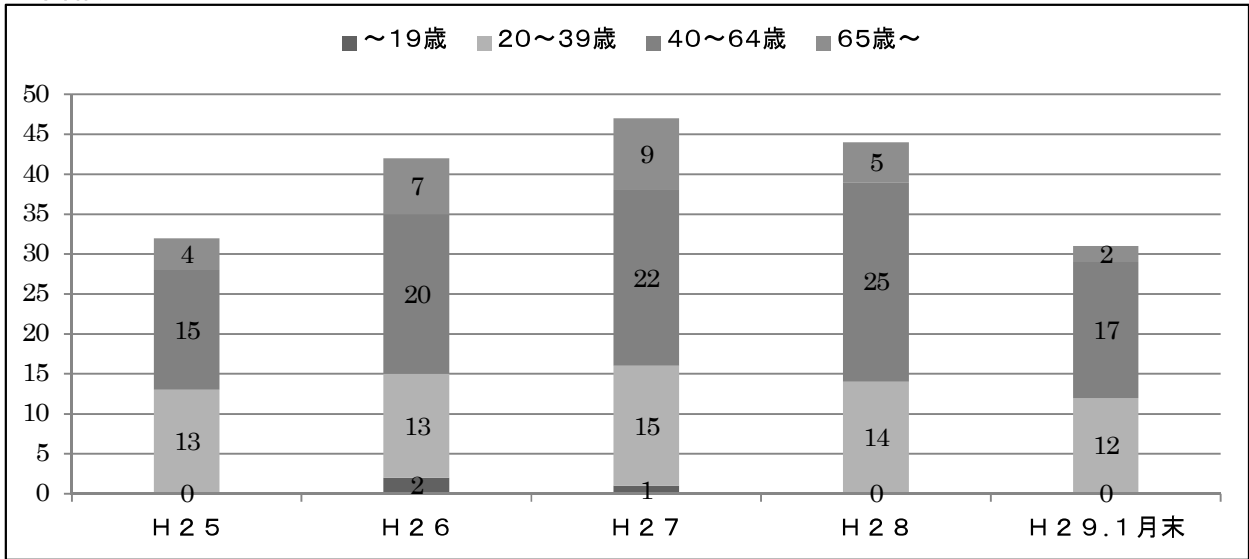
・医療保険別



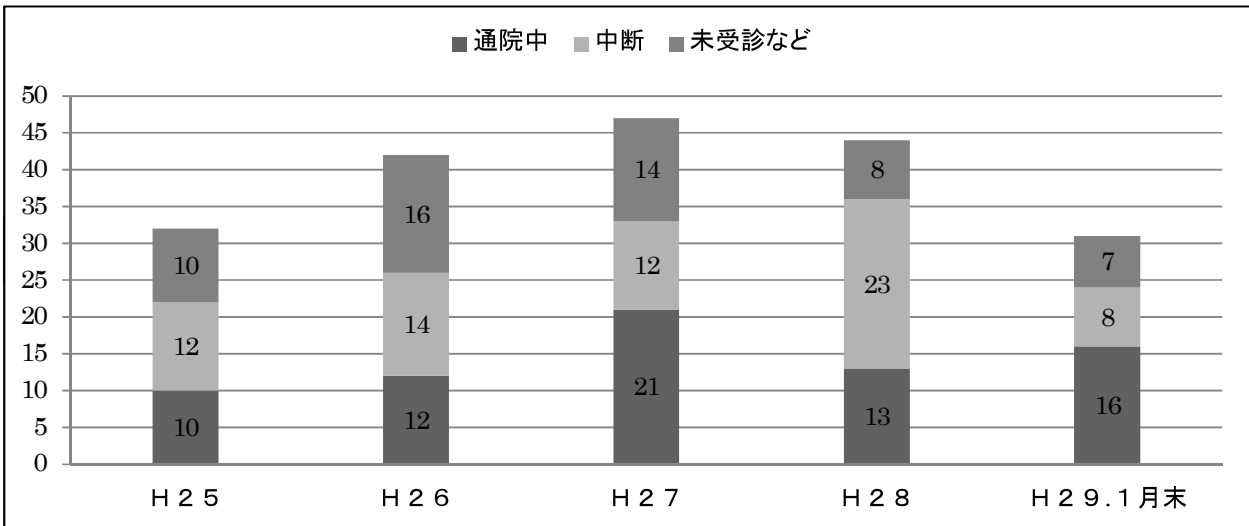
・家族構成別



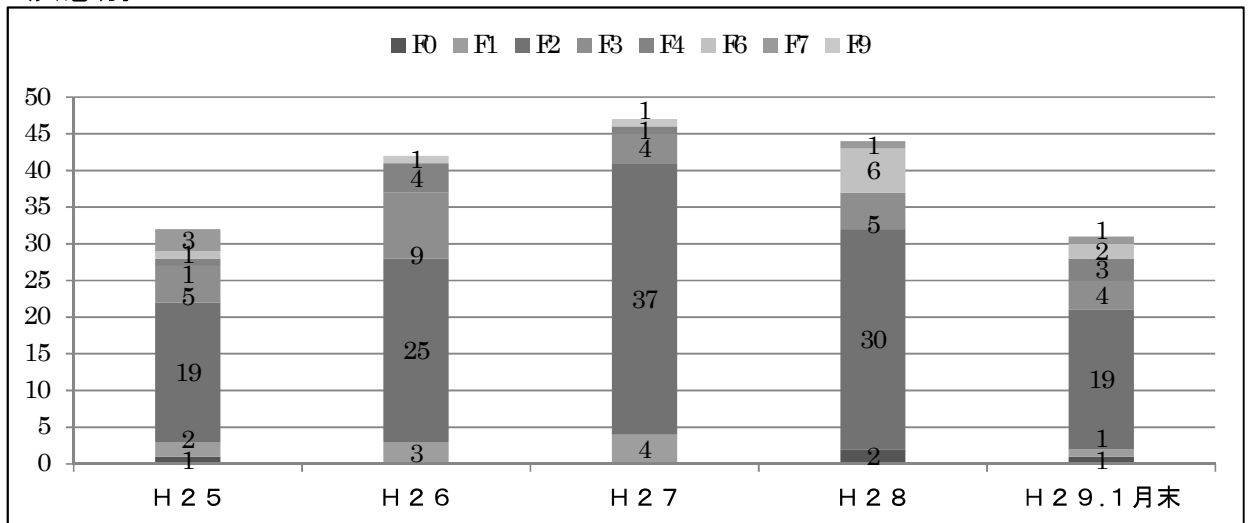
・年齢別



・受診状況別



・疾患別



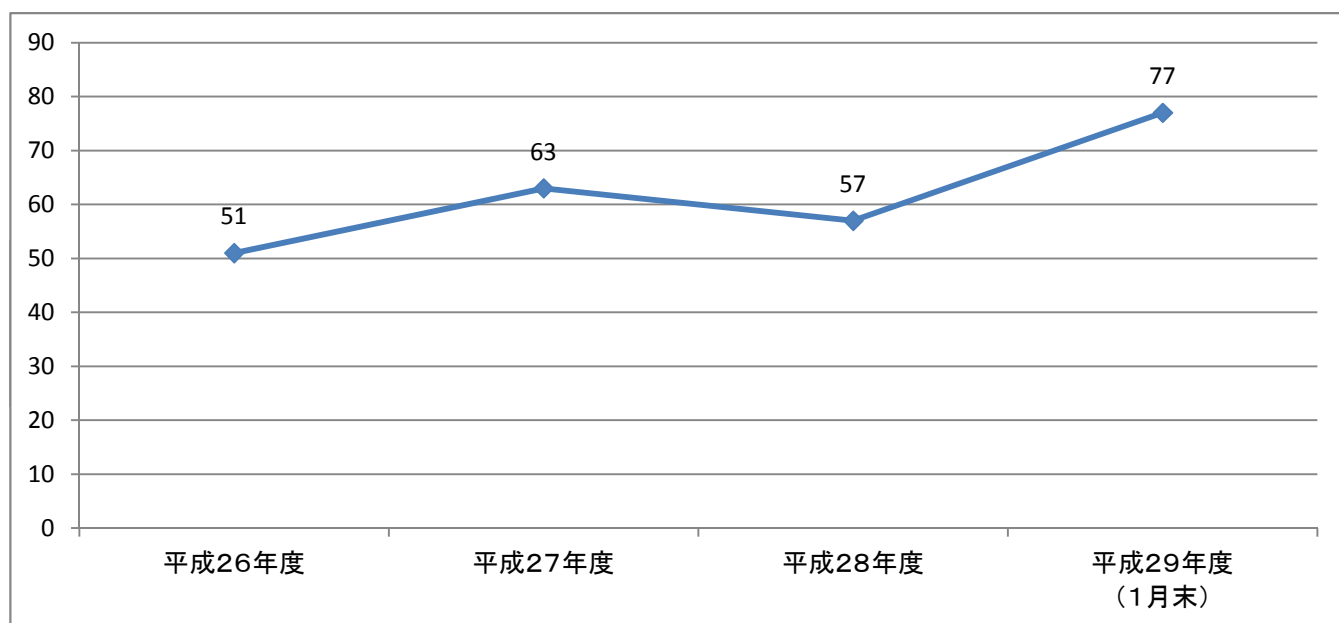
8. 受診勧奨

実績

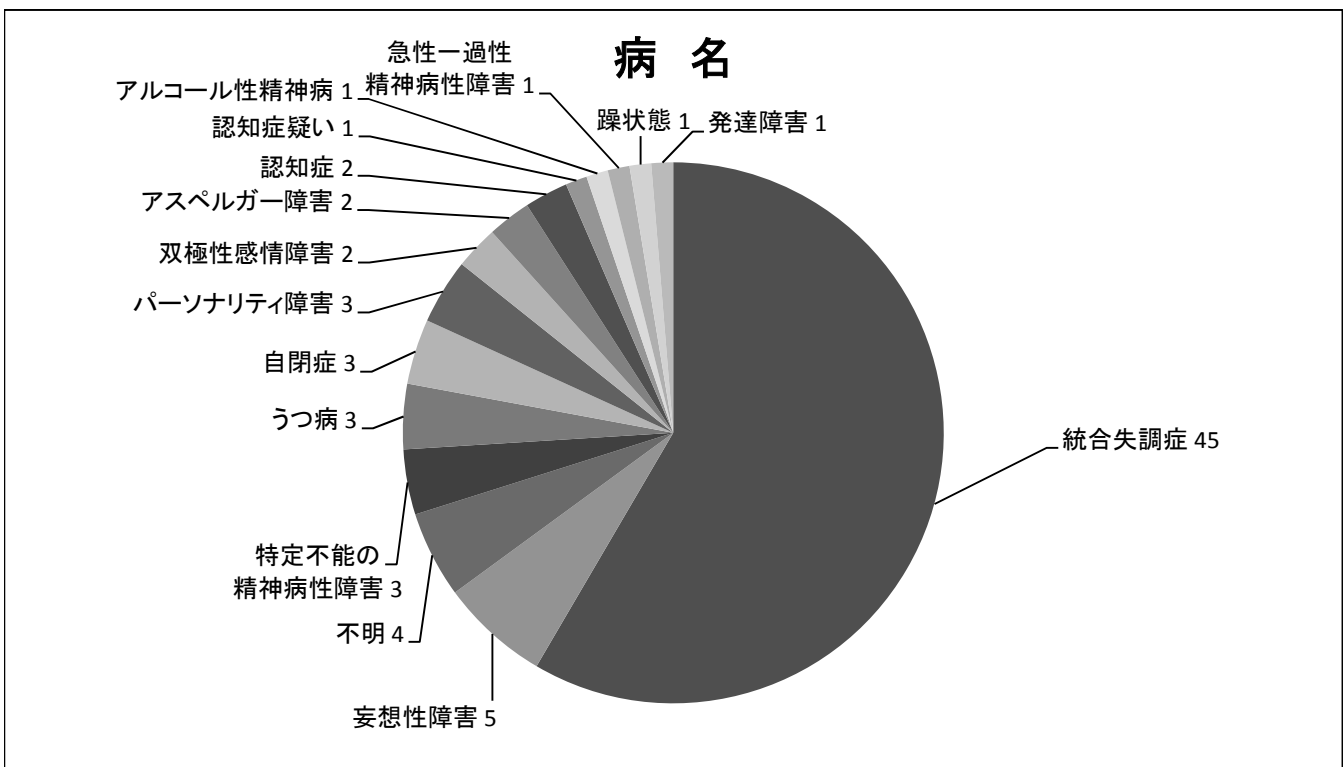
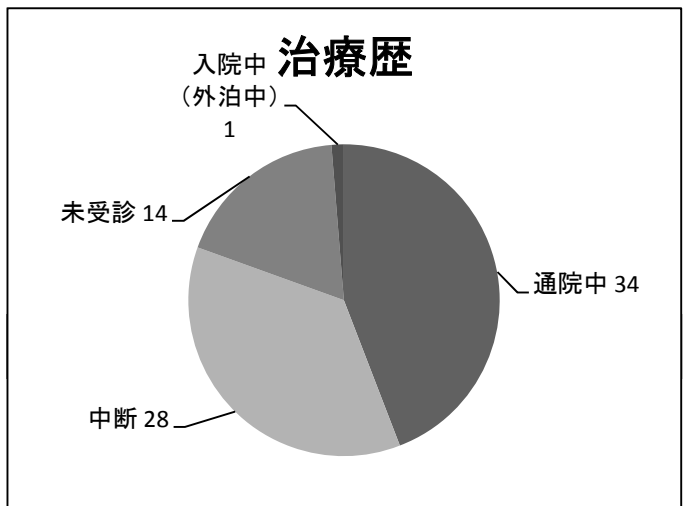
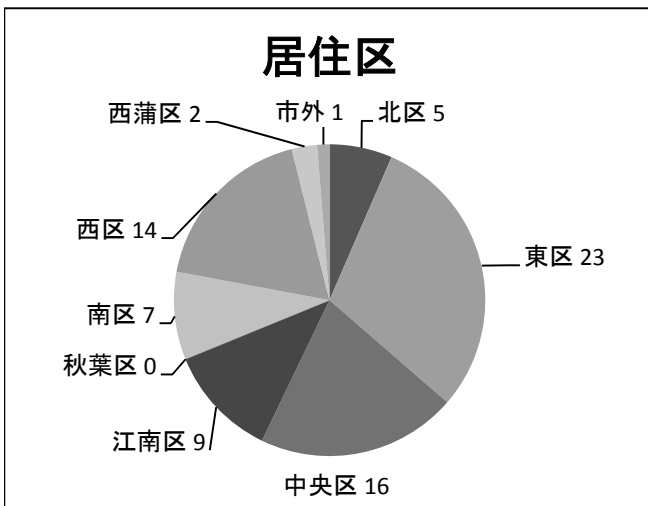
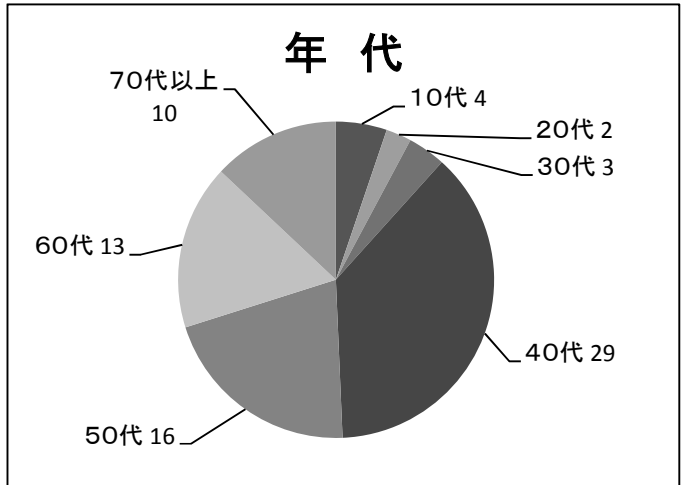
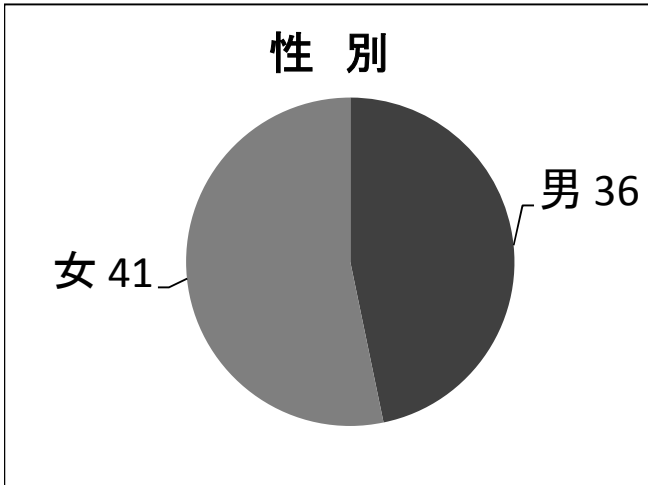
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (1月末)
受診勧奨 件数	51	63	57	77

※平成29年度見込み:92件

受診勧奨件数経年推移



対応件数：77件（平成29年4月～平成30年1月末）



9. 精神障がい者地域移行・地域定着支援事業

平成29年度

1 事業目的

精神障がい者が、住み慣れた地域で、本人の望む充実した生活を営めるよう保健、医療、福祉等の関係機関の連携のもとで、入院患者の地域移行、並びに、精神障がい者が安定した地域生活を継続するための支援を推進する

2 事業内容

(1) 体制整備 精神障がい者の地域生活を考える関係機関連絡会

【目的】 地域移行・地域定着をすすめるために、地域生活を支援する土壌をつくり、関係職員の人材育成と関係機関のネットワークの再構築を行う

【運営方法】 官民協働、多職種で構成した運営委員により、連絡会の企画・運営を行う。

《委員構成》 8名で構成。精神科病院の看護師、精神保健福祉士、相談支援事業者の相談支援専門員基幹相談支援センター相談員、保健師、区役所ケースワーカー

※運営委員会は8回開催（平成29年4月～平成29年12月末）

【対象者】 市内精神科病院(総合病院含)職員、相談支援事業所職員、行政職員、その他

実施内容

	開催日	内容	参加人数
第1回	平成29年 4月28日	「精神科病院情報交換会」 精神障がい者の地域生活支援のためのネットワークづくり、また人材育成を目的に開催した。 1 情報提供 ①精神科救急医療システム事業について ②精神科救急情報センター及び精神医療相談窓口の現状と困難ケースについて 2 情報交換・意見交換 ①各病院の地域移行の取り組みについて ②PSW業務について ③その他	市内 10病院
第2回	平成29年 7月27日 7月28日	「社会資源見学ツアー」 業務に生かせるよう、市内にある精神保健医療福祉に関する社会資源(精神科病院、居住・就労施設等)を見学した。 <Aコース>南区コース 参加者 7名 <Bコース>西区コース 参加者 17名 <Cコース>北区コース 参加者 19名 <Dコース>中央・東区コース 参加者 31名	全4コース 74名
第3回	平成29年 9月22日	「地域移行・地域定着支援研修会」 精神障がい者の地域移行・地域定着支援に取り組むための人材育成と、顔の見える関係づくりを目的とし研修会を行った。 1 講義「精神科病院からの地域移行を保健・医療・福祉の連携でより進めるために」 2 当事者による体験談発表 3 グループワーク「措置入院者等の退院後の医療等の継続支援について」	参加者 42名

(2) ピアサポートの活用

【目 的】 精神障がい者が自らの体験を語ることで、市民の精神障がいへの理解を深め、生活者としての信頼を得るとともに、精神障がい者が、支援される側から、支援者として効果的な資源になり得ることを目指す

実施状況

実施区・病院	実施日	対象者	内容	参加者
西蒲区	平成 29 年 10 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員 ・西蒲区家族会 ・自立支援協議会委員 ・関係機関（地域医療機関、障がい福祉サービス事業所等） 	1 体験発表 「リカバリーストーリーを聴く」 ・梨の里職員，体験発表者（2名） 2 シンポジウム 「精神科病院を退院してからの地域での暮らしをそれぞれの立場で考える」	36名
中央区	平成 29 年 10 月 23 日	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員 ・コミュニティ協議会 ・関係機関（地域医療機関、社会福祉協議会等） ※中央地域保健福祉センター管轄地域対象 	体験談発表 「リカバリーストーリーを聴く」 ・あどばんす職員，体験発表者（2名）	38名
新潟信愛病院	平成 29 年 11 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟信愛病院職員（看護師，作業療法士，精神保健福祉相談員等） 	体験談発表 「リカバリーストーリーを聴く」 ・あどばんす職員，体験発表者（1名）	44名
江南区	平成 29 年 11 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会委員 ・関係機関（障がい福祉サービス事業所，基幹相談支援センター等） 	体験談発表 「リカバリーストーリーを聴く」 ・豆の木職員，体験発表者（3名）	25名
南区	平成 29 年 11 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> ・一般参加者（市民） ・民生委員 ・自立支援協議会委員 ・関係機関（障がい福祉サービス事業所，社会福祉協議会等） 	1 講演 「精神疾患を理解する」 ・こころの健康センター所長 2 体験談発表 「リカバリーストーリーを聴く」 ・梨の里職員，体験発表者（2名）	70名

10. 精神保健福祉関係事業歳出予算

【保健衛生部こころの健康センター】

(単位:千円)

事業名	平成29年度 当初予算額A	平成30年度 当初予算額B	差引(B-A)
こころの健康センター事業費	3,332	2,721	▲ 611
ひきこもり支援センター運営事業	16,284	16,000	▲ 284
精神科救急医療システム事業	28,208	28,103	▲ 105
精神医療事業費	28,540	28,824	284
精神障がい者地域移行・ 地域定着支援事業	446	234	▲ 212
自殺総合対策事業	33,008	32,212	▲ 796
その他	24,427	17,734	▲ 6,693
合計	134,245	125,828	▲ 8,417

【福祉部障がい福祉課】

(単位:千円)

事業名 ※三障がい共通事業は除く	平成29年度 当初予算A	平成30年度 当初予算B	差引(B-A)
精神障害者保健福祉手帳交付事業	2,767	2,681	▲ 86
自立支援医療費支給費	1,002,419	1,110,118	107,699
精神障がい者入院医療費助成費	17,352	16,557	▲ 795
精神障がい者通所作業訓練所 通所交通費助成事業	12,462	18,712	6,250
地域活動支援センター(I型)事業	44,775	45,020	245
合計	1,079,775	1,193,088	113,313

※参考資料2参照